

(様式第4号)

協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人子どもシェルターモモ（担当者 事務局 西井）			
	合同提案団体 （*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。）	特定非営利活動法人杜の家			
協働する岡山市の担当課等と担当者	課名	こども総合相談所 こども企画総務課		電話	086（803）2525 086（803）1220
	担当者 2名	職名	こども総合相談所	職名	こども企画総務課
		氏名	出原 晋一郎	氏名	宇野 弘靖
	提案事業の名称	児童養護施設退所児童等へのアフターケア事業			
提案事業の目的	児童養護施設及び自立援助ホーム、養育家庭等を退所した子どもや若者が、社会的に自立した生活が送れるようになることを目的に、「アフターケア相談所」を設置し、居場所の提供、生活支援、就労支援、住居支援等様々な支援を行う。 また、昨年度実施した「児童養護施設等退所前学び事業」でのふりかえりを元にプログラムを再構築する。				
解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等（市民ニーズ含む） ※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <p>児童養護施設等で育った子どもたちの多くは虐待のトラウマや相手との適度な距離をとることができない愛着障害を抱えており、対人関係で躓くことも少なくない。学歴についても高校卒業、中学卒業の子どもが多く、就職活動や就労において困難を抱えている。</p> <p>施設退所後はそうしたハンディを抱えながらも、自らの力だけで生きていかざるを得ない状況にある。そのため、子どもたちが困難に遭遇した場合、孤立してしまい、生活が破たんし、さらなる困難を抱え込むようになっているのが現状である。</p> <p>これまで施設退所者のアフターケア支援は必要とされながらも、職員のボランティア精神に頼らざるを得ない状態であり、社会的養護の大きな課題である。</p> <p>2. 市民ニーズ</p> <p>平成25年度の岡山市内の児童施設退所者に向けたアンケートでは、回答者の46%が困ったときの相談相手は「暮らしていた施設の職員」との解答であった。しかし、現在の人員配置では職員が退所者の支援まで行うことは非常に困難な状況である。</p> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>児童養護施設等を退所した子どもや若者が退所後に抱える困難を解決するための「アフターケア事業」を行う。具体的には、対象者が気軽に立ち寄れる常設の居場所を設け、居場所を拠点として、相談窓口の運営、生活支援・就労支援等やそのための関係機関との調整を行う。</p> <p>また「アフターケア事業」を行うにあたって必要である児童養護施設に入所している子どもたちや施設との関係づくりのため、15～19歳の子どもに対し、退所後の社会生活を送る上で必要な知識や社会常識等を学ぶ「児童養護施設等退所前学び事業」を実施する。</p>				

<p>協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を 含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果 平成 28 年度以降は「退所児童等アフターケア事業」としての事業化を目指し、公的な資金の支援を受けながら、継続的で安定した支援を目指す。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割 事業の運営、事業内容の検証</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割 事業の内容への助言、施設への協力依頼、事業化に向けた協議</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等 (アフターケア相談所事業) ・アフターケアの事例を記録・検証することで今後の支援のための指標とする。</p> <p>(退所前学び事業) ・岡山市内の児童養護施設等 10 箇所、各回 20 人程度を対象に退所前教育を行う。 ・受講者向けのアンケート、施設への事業終了後のアンケートを実施し、今後の退所前学び事業のプログラムを構築する。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>児童養護施設等を退所した子どもや若者(以下、対象者)が退所後に抱える困難を解決するため、下記の支援を行う。</p> <p>【アフターケア相談所事業】</p> <p>①居場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者が気軽に立ち寄れる常設の居場所を、現在の子どもシェルターモモ事務局が使用している建物に設ける。常駐のスタッフを配置し、居場所を拠点として、相談窓口の運営、生活支援・就労支援等やそのための関係機関との調整を行う。 ・食事会等のイベントを開催し、当事者同士の交流の場を提供したり、ピアサポートを行う。 <p>②相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設関係者、児童相談所等の関係機関、対象者等からのアフターケアについての相談を受付けるための専用電話を開設する。 <p>③生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常駐のスタッフやボランティアスタッフが対象者に日常生活における様々な問題へのアドバイスを行う。必要に応じて手続き等の同行支援を行う。 ・行政や専門家(弁護士、精神科医等)、入居支援センター等の他の支援機関など社会資源へのつなぎ役を担う。 <p>④就労支援・学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや若者就職支援センター、障害者就業・生活支援センター等の支援団体と対象者をつなぎ就労先の幅を広げる。 ・スキルアップのための就学支援や資格取得に向けた学習支援を行う。 <p>【退所前学び事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在児童養護施設等に入所している 15～19 歳の子どもに対し、退所後の社会生活を送るうえでの必要な知識や社会常識等を学ぶためのセミナーを全 6 回開催する。講座内容は平成 26 年度事業についての施設ヒアリング結果を基に改善を行う。 ・退所後に困ったときにアフターケア相談所へ相談できるよう、子どもや施設関係者との関係づくりを行う。 ・施設や子どもたちに向けて事業内容が伝わるよう、分かりやすい広報を行う。

	<p>【関係者会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市こども総合相談所、岡山市こども企画総務課や児童養護施設の施設長、関係団体等が集まって、今後の事業化に向けた協議や事業の方向性について協議を行う会議を年4回開催する。 																					
<p>事業の実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもシェルターモモ専務理事 西崎 宏美 2. 個別事業責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・杜の家事務局長 大森 浩史 ・子どもシェルターモモ事務局員 西井 葉子 3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ <ul style="list-style-type: none"> 2団体の持つネットワークを活用し、専門家との繋ぎ役を担う。 																					
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1" data-bbox="486 864 1433 1440"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td> <td>アフターケア事業 (居場所の提供、相談窓口、生活支援、就労支援・学習支援)</td> </tr> <tr> <td>年4回</td> <td>関係機関会議 (参集者：岡山市、岡山県、児童養護施設施設長、関係団体等)</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>第1回セミナー「先輩たちのはなし」</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>第2回セミナー「仕事のはなし」</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>第3回セミナー「保険・年金のはなし」</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第4回セミナー「契約のはなし」</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>第5回セミナー「お金のはなし」</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第6回セミナー「かんたんクッキング」</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> <td>報告書の作成</td> </tr> </tbody> </table>		月	実施事業内容	通年	アフターケア事業 (居場所の提供、相談窓口、生活支援、就労支援・学習支援)	年4回	関係機関会議 (参集者：岡山市、岡山県、児童養護施設施設長、関係団体等)	7月	第1回セミナー「先輩たちのはなし」	8月	第2回セミナー「仕事のはなし」	9月	第3回セミナー「保険・年金のはなし」	10月	第4回セミナー「契約のはなし」	11月	第5回セミナー「お金のはなし」	12月	第6回セミナー「かんたんクッキング」	1月～3月	報告書の作成
月	実施事業内容																					
通年	アフターケア事業 (居場所の提供、相談窓口、生活支援、就労支援・学習支援)																					
年4回	関係機関会議 (参集者：岡山市、岡山県、児童養護施設施設長、関係団体等)																					
7月	第1回セミナー「先輩たちのはなし」																					
8月	第2回セミナー「仕事のはなし」																					
9月	第3回セミナー「保険・年金のはなし」																					
10月	第4回セミナー「契約のはなし」																					
11月	第5回セミナー「お金のはなし」																					
12月	第6回セミナー「かんたんクッキング」																					
1月～3月	報告書の作成																					
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<table border="1" data-bbox="448 1494 978 1886"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童養護施設等退所者</td> <td>ピアサポート</td> </tr> <tr> <td>キャリアカウンセラー</td> <td>仕事、働くということについての指導</td> </tr> <tr> <td>ファイナンシャルプランナー</td> <td>お金の管理の仕方についての指導</td> </tr> <tr> <td>社会保険労務士</td> <td>保険・年金等の制度についての指導</td> </tr> <tr> <td>弁護士</td> <td>契約等についての指導</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>自立生活後の食事づくりについての指導</td> </tr> <tr> <td>NPO 法人岡山入居支援センター</td> <td>住居の支援</td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割	児童養護施設等退所者	ピアサポート	キャリアカウンセラー	仕事、働くということについての指導	ファイナンシャルプランナー	お金の管理の仕方についての指導	社会保険労務士	保険・年金等の制度についての指導	弁護士	契約等についての指導	管理栄養士	自立生活後の食事づくりについての指導	NPO 法人岡山入居支援センター	住居の支援					
名称	期待される役割																					
児童養護施設等退所者	ピアサポート																					
キャリアカウンセラー	仕事、働くということについての指導																					
ファイナンシャルプランナー	お金の管理の仕方についての指導																					
社会保険労務士	保険・年金等の制度についての指導																					
弁護士	契約等についての指導																					
管理栄養士	自立生活後の食事づくりについての指導																					
NPO 法人岡山入居支援センター	住居の支援																					
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。</p> <p><input type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>																					

具体的な目標（計画）があれば記載してください。

平成 28 年度からは「退所児童等アフターケア事業」としての事業化を目指し、公的な資金の支援を受けながら、継続的で安定した支援を行う。

本事業を通して、アフターケア支援のためのネットワークや仕組みを形成し、対象者が「生きていくために必要な支援」を継続的に行うことで、彼らを孤立させず、虐待・貧困の連鎖を未然に防ぎ、次世代を担えるおとなへと育成することができる。

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名	児童養護施設等アフターケア事業
--------------	-----------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	494,000	
	合同提案団 体負担金等	0	
自己資金等合計(a)		494,000	
事業 収入 見込		0	
事業収入見込合計(b)		0	
岡山市補助金申請額(c)		1,482,000	
収入合計(c)=(a)+(b)+(c)		1,976,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業 実施 経費	人件費	752,000	アフターケア事業・学び事業人件費 @1,000円×のべ752時間
	報償費	295,000	講師謝金(交通費込)15,000円×5名 講師謝金(交通費込)5,000円×4名 アフターケア委員謝金(交通費込)10,000 円×5名×4回
	旅費(交通費)	100,000	公共交通機関実費、交通費(移動距離× @20円)、駐車場代等
	消耗品	55,000	調理実習食材費@1,000円×25名、文具等
	通信運搬費	130,000	アフターケア専用電話代10,000円×11カ月、案 内郵送
	使用料・賃借料	354,000	アフターケア事業賃借料@30,000円×11カ月 学び事業会場費@4,000円×6回
事業実施経費合計(d)		1,686,000	
管理 運営 経費	人件費	60,000	報告書執筆
	消耗品費	20,000	コピー用紙、印刷インク代、文具等
	印刷製本費	200,000	報告書印刷@200円×1,000部
	通信運搬費	10,000	連絡調整、報告書等郵送代
管理運営費合計(e)		290,000	
総事業費(f)=(d)+(e)		1,976,000	※収入合計(c)と同額